

事業所における自己評価結果(公表)

公表：2024年 2月 1日

事業所名： 放課後等デイサービス青空つばさ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	0	人が密集しないように外での活動やくまの子の部屋を使ったりしている。	来年度も人数が増えるので、今以上に手狭になる。活動場所の確保に、季節の物などは物置で保管をし、また保育道具などをできるだけ収納して活動スペースを確保する必要がある。
	2	職員の配置数は適切であるか	4	0	配置基準より多く配置しています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3	1	玄関に簡易スロープや手すりなどを設置している。	状況に応じて今後も対応していきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4	0		子ども達の写真などを壁面などに展示し、自分たちの居場所となるように継続して行ってきたい。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	0		ポイントは抑えているが詳しく伝えていく必要がある。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	0		ご意見を頂いた項目は職員全体で周知し、今後の改善に努めたい。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	0	公表している	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	4	未実施	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	0	今年度は数回実施した。	発達の話など研修の機会を提供し、個別での研修も受けれる様に対応している。
適切な	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	保護者の方々と面談を行い、ニーズや課題を双方で確認している。	今後も継続して行っていく。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	0		標準化ツールではないが事業所独自のツールを使い実施している。
	12	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	0	相談員や保護者と面談の際に相談し、適切な支援内容を計画に反映している。	今後も随時相談員や関係各所と意見交換を行い、支援内容に反映していく。
	13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	4	0	情報は随時話し合っている	細かいところまで周知できていない場合があるので、改善していく。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	0	次月の予定や長期休暇などの予定を職員全体で確認している。	定期的な会議の開催と、業務終了後の雑談の場を今後も大切にしていきたい。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	0	同じ様な行事でも少しアレンジを加え、楽しめるようにしている。	今後は新しい活動や流行りの物を取り入れたりして楽しい活動を継続して行う。

支援の提供	16	(放課後等デイサービスのみのみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	0	土曜日や長期休暇でしかできない特別な活動を取り入れている。	少し難しい課題や時間をかけて行う課題などを積極的に取り入れていきたい。
	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0		その都度見直しを行いながら、活動計画を作成していく。
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	0		臨時職員と細かな打ち合わせをより行っていけるようにする。
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	0		臨時職員と細かな打ち合わせをより行っていけるようにする。
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	0	個人記録・提供記録を記載し、今後も活用できるようにしていきます。	
	21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	0		相談支援員と連携を強化し、全職員に周知していきます。
	22	(放課後等デイサービスのみのみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	4	0		展開はしているが、定期的なガイドラインの振り返りを進めています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	0	自発管や直接支援している指導員が積極的に参加している。	今後も関係機関と連携し、ケース会議が必要と思われる場合は積極的に参画していく。
	24	(児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか				
	25	(放課後等デイサービスのみのみ) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	0	積極的に担任と連絡をより密に取り合うようになっています。	支援学校とは毎日連絡や引継ぎを行っているが、地域の学校とは難しい場合があるので、改善していく。
	26	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	27	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	28	(児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか				
	29	(児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか				
	30	(放課後等デイサービスのみのみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	0	定期的に連絡会議を行い、情報共有をしています。	今後も継続して密に連絡を取り合っていく。

保護者との連携	31	(放課後等デイサービスのみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	0	現在連絡があった場合は同意の上、情報提供を行っています。	
	32	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	0	法人内の各事業所と連携、展開を行っています。	法人内の発達相談員に相談したり、必要な時は職員全体に研修を行っていききたい
	33	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	4	今年度は感染予防の為、実施していない。	今後タイミングをみて積極的に交流していききたい
	34	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	4	0		より多くの参加機会が出来るように進めていきます。
	35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	0	送迎時や連絡帳又SNSにて共有が出来るようにしています。	
	36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	4	0	交流会や学習会、保護者面談の機会を設けている。	より機会の場面が作れるように協議していきます。
保護者への説明責任等	37	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	0	年に一回の説明会を開催しています。	
	38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	4	0	アセスメントや面談の際に説明し、同意を得ている。	
	39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	0	随時相談に応じている。必要な場合は関係部署と連携を図り、支援を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	0	保護者研修・親子イベントなどを開催し、普段あまり接点のない異年齢の保護者との交流の機会を確保している	年度末に保護者会を開催予定です。保護者の方が参加しやすい日時などを検討していく必要がある。
	41	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	相談員含め関係部署と連携して相談に応じています。	今後も保健師や他事業所などの連携を密にしていきたい。
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	0	月に一度のお便りと年に3回の法人全体の通信を出している。	今後も時事ネタを発信できるようにしていきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか	4	0	書類等は許可がない限り持ち出さないように指導しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	0	文章や口頭での対応を行い、丁寧な対応を心掛けている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	0	今年度は地域の清掃活動に参加したり、地域の方々にしめ縄を教えて頂いた。	今後も地域とのつながりをもてるようにしていく。
	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4	0	個別支援計画に記載している。	定期的な避難訓練は行っているが、学校並みの訓練までは行っていない。

非常時等の対応	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	0	定期的に行っている。	定期的な避難訓練は行っているが、学校並みの訓練までは行っていない。今後は拡声器でのサイレンなどを用いてもう少し本格的に行っていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	4	0	保護者より情報を頂き、職員全体で周知徹底し、てんかんを持っている子に関しては常に視野に入れるようにしている。	現在医師からの指示書を頂いている子も居るが、今後出来る限り指示書を頂く様にしていく。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	2	1	保護者より年度初めに情報を頂き、職員全体で周知している。	今後出来る限り指示書を頂く様にしていく。
	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	0		事例集はあるが、活用できていない。
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	0	虐待チェックリストを年に3回行っている。	虐待研修を年に一回行い、周知徹底を行っている。
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	0	説明という点では、丁寧な説明をしていきたい。	計画記載に関しては不十分な面があるので、早期に改善していく。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表: 2024年 2月 1日

事業所名: 放課後等デイサービス青空つばさ 保護者等数(児童数) 18 (19) 回収数 12 割合 66.6 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	3	0	1	あすなろつばさ位の広さがあればいいと思う	・井端邸は今現在でも、利用人数が多い日は狭く感じる時があるが、外活動や隣のくまの子教室を利用し、密にならないように工夫している。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	11	0	0	1	職員間同士(青空つばさ⇔あすなろつばさ)の情報の共有をしてほしい	配置基準より多く配置しています。職員会議などで情報の共有はしているが、帰りの送迎の際の連絡には工夫を行い、出来るだけ情報共有をしていく。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10	1	0	1		・実際に保育現場を保護者の方々が見学される機会が少ない為、わからないと言う意見があったと思われる。契約時での説明や教室開放などで知って頂く機会の確保を行っていきたい
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9	2	0	1		・実際に保育現場を保護者の方々が見学される機会が少ない為、わからないと言う意見があったと思われる。契約時での説明や教室開放などで知って頂く機会の確保を行っていきたい
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画が作成されているか	12	0	0	0		
	⑥	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11	0	0	1		今後ゆっくり意見を伺える機会の確保をしていきたい。
	⑦	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	11	1	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	10	1	0	1		今後は新しい活動や流行りの物を取り入れたりして楽しい活動を継続して行う。
	⑨	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	2	0	2		今後タイミングをみて積極的に交流していきたい
保護者 への 説明等	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9	3	0	0		説明会や交流会・案内文において周知を進めていきたい
	⑪	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら、支援内容の説明がなされたか	10	0	0	1		アセスメントの時などに説明を行っている
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	7	3	0	2	利用したことが無いのでわからない	・今現在個別での相談等は受けたり、学習会などは行っているが、ペアレントトレーニングについては行っていない。今後社会の情勢を見て計画していきたい。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	11	0	0	1		全職員に周知できていない場合があるので、改善していく。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	0	0	0		定期的な会議の開催と、業務終了後の雑談の場を今後も大切にしていきたい。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9	2	0	1		保護者研修・親子イベントなどを開催し、普段あまり接点のない異年齢の保護者との交流の機会を確保している
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	11	0	0	1		相談員にも協力して頂き、少し難しい課題や時間をかけて行う課題などを積極的に取り入れていきたい。

	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10	1	0	1		出来るだけその時その時で対応をしている。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	11	0	0	1		月に一度のお便りと年に3回の法人全体の通信を出している。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	11	0	0	1		管理方法にはより徹底した方法を進めていく。
非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	9	2	0	1	学校のような避難訓練やマニュアルがあればいい	避難場所・緊急時の対応における、案内文や説明会においても案内を徹底させる必要がある。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	0	0	4	本人は覚えていないと言っている	定期的な避難訓練は行っているが、学校並みの訓練までは行えていない。今後は拡声器でのサイレンなどを用いてもう少し本格的に行っていききたい。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	12	0	0	0	毎日楽しんで行っています。	今後も楽しい活動を行っていききたい。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	12	0	0	0		現状に満足せず、よりよい活動を行っていききたい。

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援・放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。